

第7回日台交流サミット in 神戸

神戸宣言

日本と台湾は互いが困難の時、常に寄り添い、助け合っている。この神戸の地を襲った阪神淡路大震災や東日本大震災、昨年のコロナ禍における医療物資の不足時においては台湾が官民挙げての真心からの絶大なる支援を日本に対して行い、日本もまた新型コロナウイルスワクチンを台湾に対して提供を行うなど、日本と台湾は互いに支えあい、困難や危機を乗り越える度に友情は深まり、今やその絆は決して揺るがない強固なものである。

日本と台湾は平和を尊び、法の支配、自由と民主主義、人権を尊重する普遍の価値観を共有し、我々の友好関係への圧力や主権に対する如何なる侵害も認めない。日台の友好親善と連携の強化による「善意の循環」は、日本と台湾の国益、両国民の福祉向上のみならず、人類福祉の向上と世界平和に貢献することを確認する。よって、これまでの日台交流サミットで採択された宣言を鑑みて、次の提言をする。

- 1, 日本と台湾の経済、文化、教育、観光、医療、防災などの分野で交流・連携協力の促進。
- 2, 日台の外交・安全保障政策の為、「日台関係に関する基本法」を速やかに制定すること。
- 3, 台湾は、航路、金融、観光、産業、防疫などのハブであり、2019年に台湾を離着陸又は経由する旅客は約7,200万人存在し、台湾に在留する日本人は約24,000人であること、台湾が領域、国民、主権の三要素を有することを鑑みて、世界保健機関（WHO）、国際民間航空機関（ICAO）、国際刑事警察機構（ICPO）などの国際機関や国際的枠組み、国連システムへの参加実現に向けて日本の取り組みを強化すること。
- 4, CPTPP（環太平洋パートナーシップ協定に関する包括的及び先進的な協定）を加入申請した台湾の加盟に向け、日本による働きかけを強化すること。
- 5, 人類が新型コロナウイルスに打ち勝つ為、日本と台湾は相協力して、人類福祉の向上に貢献すること。

以上の提言の実現に向けて、各議会の議員、議員連盟をはじめとする第7回日台交流サミット in 神戸に参画する我々は活発に活動するとともに、日台の友好親善の絆を永遠につなげていくことをここに宣言する。

令和3年11月12日

第7回日台交流サミット in 神戸